

滋賀県信楽窯業試験場移転用地確保のために



甲賀市が2億800万円で 土地を先行取得

**現況評価はいいけれど一貫性に欠ける
不動産評価鑑定書も一者随契…**

滋賀県立窯業試験場移転予定地を甲賀市が先行取得するため、9月議会に提案されていた「陶芸の森」入口の私有地18,261・36㎡を2億800万円で取得する議案に対し、日本共産党の岡田重美議員が「不動産鑑定士の評価は現況を基本に置いているが、一貫性がない。あらためて精査したうえで採決に付すべきである」と継続審査の動議を提出しました。賛成は日本共産党と鶴飼議員のみで否決。そのため市長提案の議案に対しては、小西喜代次議員が反対討論にたちました。

地番	2200番の1
地目(登記)	山林
地目(鑑定)	山林
現況	宅地
面積	873㎡
現況の写真	

地番	2388番の1
地目(登記)	原野
地目(鑑定)	原野
現況	宅地
面積	211㎡
現況の写真	



誰もが納得してから採決すべき

「継続審査」の動議を提出

日本共産党は当初から「県立施設を建設するのに甲賀市が土地を先行取得し県に提供するのはおかしい。必要なら県が購入したらい」との立場から問題点を指摘してきました。今回私有地を市が2億800万円で購入する提案でしたが、不動産鑑定士が一者随契であり、実測ではなく公募面積で購入、山林と宅地などが混在する土地のため一括して評価し購入しようというもの。登記簿の地目が山林であっても現況が宅地であれば現況を基本に評価しているとの説明でしたが、産業建設常任委員会の審査の中で、一貫性がないことが明らかになりました。例えば2200番の1は、現況宅地なのに「山林」、2388番の1は現況宅地なのに「原野」。担当課が鑑定事務所に問い合わせたところ「現況は宅地だが、草が生えているので登記の通り原野で評価した」と説明しています。評価額全体に影響がでるため、再度精査したうえで議案を採決するのは当然です。

甲南ぶらら前 ここに横断歩道を設置して… 父母らが要望署名提出



甲南町野田地先の子どもたちが毎日通学している甲南プララ前の道路には「横断歩道」がありません。保護者らが毎朝夕、身を挺して安全を確保していますが、こんな危険な状態は放置できない。早急に横断歩道を設置して…と200筆を超える要望書を添えて教育長に3日要望しました(写真)。この問題は9月議会で山岡光広議員も取り上げ、この日の教育長への申し入れにも同席し、「何よりも通学の安全を確保することを最優先に対応を」と指摘しました。

山ちゃんの一週間

- …4日(金)は、早朝寺庄駅で宣伝、11時から学校図書館司書と懇談、午後から守山市議選支援。
- …5日(土)は、9時から甲南幼稚園運動会、その後守山市議選支援。
- …6日(日)は、終日、守山市議選投票日、現有1議席から2議席に躍進。
- …7日(月)は、9時半から甲賀広域行政組合議会、平成30年度決算認定と一般質問、19時から草津で会議。
- …8日(火)は、午前中片付けなど、13時から開票不正調査特別委員会、19時から守山で会議。
- 9日(水)は、10時から大津で会議、午後から片付けなど、18時半から甲賀生活と健康を守る会学習会、帰宅後ニュース作成。
- …10日(木)は、9時半から終日厚生文教常任委員会。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

日本共産党

2019年10月13日
第783号